

公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構第33回定例理事会議事録

I. 日 時 令和7年2月28日（金）10時00分～12時00分

II. 場 所 医療系大学間共用試験実施評価機構会議室及びWeb会議システム

III. 出席者

理 事 栗原 敏（議事録作成者），江藤一洋，齋藤宣彦，高木 康，斎藤隆史
三谷昌平，清水貴子（Web），河野文昭（Web），新田 浩，石原 慎（Web）
山口育子，別所正美（Web），藤井一維，今村英仁（Web），佐藤哲也
松谷有希雄，村田貴司
監 事 竹田幸博

IV. 議 題

1. 審議事項

第1号議案 令和6年度補正予算（案）について
第2号議案 令和7年度事業計画（案）について
第3号議案 令和7年度収支予算（案）について
第4号議案 第13回臨時総会審議事項等（案）について
第5号議案 就業規則の一部改正（案）について

2. 報告事項

（1）共用試験の課題と情報共有事項について
（2）財務状況（令和7年1月末まで）について
（3）理事長及び副理事長の職務執行状況について
（4）共用試験成績について
（5）その他

3. 配付資料

資料番号なし 第32回定例理事会議事録（案）

資料1 令和6年度収支補正予算書（案）
参考資料 令和6年度厚労省医療施設運営費等補助金の交付額
資料2 令和7年度事業計画書（案）
資料3-1 令和7年度収支予算書（案）
資料3-2 令和7年度収支予算資金調達及び設備投資の見込み（案）
資料3-3 令和7年度収支予算書内訳表（案）
参考資料 令和7年度予算（案）について（説明資料）
資料4-1 第13回臨時総会開催通知（案）
資料4-2 第13回臨時総会出欠票（案），委任状（案），議決権行使書（案）

- 資料４－３ 第１３回臨時総会議案説明書（案）
 資料５ 就業規則の一部改正（案）新旧対照表

- 報告資料１－１ 医学生ＣＢＴ課題点報告
 報告資料１－２ 歯学生共用試験ＣＢＴの課題
 報告資料１－３ 医学生ＯＳＣＥの課題点
 報告資料１－４ 歯学生ＯＳＣＥの課題点
 報告資料１－５ 歯学生ＰＸ実施管理委員会（２０２５年２月）
 報告資料２ 令和５・６年度収支状況比較（令和７年１月末までの実績）
 報告資料３ 理事長及び副理事長の職務執行状況報告
 報告資料４－１ ２０２４年度医学生共用試験ＣＢＴ結果表
 報告資料４－２ ２０２４年度歯学生共用試験ＣＢＴ結果表
 報告資料４－３ ２０２４年度医学生臨床実習前ＯＳＣＥ結果表
 報告資料４－４ ２０２４年度歯学生臨床実習前ＯＳＣＥ結果表
 報告資料４－５ ２０２４年度医学生臨床実習後ＯＳＣＥ結果表
 報告資料４－６ ２０２４年度歯学生 Post-CC P X結果表
 報告資料５－１ 令和７年度委員会組織図
 報告資料５－２ 機構委員会規程別表

V. 議事の経過の要領及び結果

栗原議長から、定足数の確認について付議、松尾総務部長から理事の現在数２０名のうち、１７名（うちWeb出席者５名）が出席し、機構定款第３５条第１項の規定による理事会の定足数については、成立要件を満たしている旨説明があった。

続いて、栗原議長から第３２回定例理事会（令和６年１１月２５日開催）の議事録（案）の確認について付議、審議の結果、全員異議なく、原案どおり確認された。

審議の過程における主な質問と回答の要旨は以下のとおり。

質 問	回 答
前回承認された役員候補者選考規程について、理事候補の選考基準に、「組織運営及び業務執行上、５期（１０年）を超えて引続き在任することが特に必要である場合はこの限りではない。」との例外規定があるが、これが濫用されると、原則の意味がなくなる。例外規定を設けた理由を再度説明してほしい。（佐藤理事）	仮に、理事長、両副理事長の３人が一度に退任することになる場合、業務の円滑な継続が困難になることも考えられるため、選考委員会が、理事長には例外規定を適用し再任を認める場合等を想定している。また、理事は総会の決議により選任されるため、例外規定が濫用されると、総会で承認を得られないことも考えられる。（迫田事務局長）

引き続き、栗原議長から議事録署名人の選出について付議、機構定款第３６条第２項に基づき、理事長及び出席した監事を議事録署名人とした。

1. 第1号議案 令和6年度補正予算（案）について

栗原議長から本件について付議，迫田事務局長から，資料1「令和6年度収支補正予算書（案）」及び参考資料「令和6年度厚労省医療施設運営費等補助金の交付額」に基づき説明があり，審議の結果，全員異議なく，原案どおり承認された。

2. 第2号議案 令和7年度事業計画（案）について

栗原議長から本件について付議，齋藤副理事長から資料2「令和7年度事業計画書（案）」に基づき説明があり，審議の結果，全員異議なく，原案どおり承認された。

3. 第3号議案 令和7年度収支予算（案）について

栗原議長から本件について付議，迫田事務局長から資料3－1「令和7年度収支予算書（案）」，資料3－2「令和7年度収支予算資金調達及び設備投資の見込み（案）」，資料3－3「令和7年度収支予算書内訳表（案）」及び参考資料「令和7年度予算（案）について（説明資料）」に基づき説明があり，審議の結果，全員異議なく，原案どおり承認された。

審議の過程における主な質問と回答の要旨は以下のとおり。

質 問	回 答
「PCC」という表記には，何か説明を加えた方が 良い。（齋藤副理事長）	「臨床実習後OSCE」に改める。（迫田事務局長）
P8財務改善計画の進捗状況のうち，7,400万 円の削減計画が，進捗状況では2億4,000万円と 数字が異なっており分かりづらい。（新田理事）	補助金事業を含めて2億4,000万円と記載した が，分かり易く改める。（迫田事務局長）
受験料の試算件数が，本試験・再試験ともに 180件の増となっているが，試算の根拠はどうな っているか？また，令和6年度の予算と結果の 見込はどうか，再試験が多かったのか？（藤井理 事）	参考資料1のとおり，本試験・再試験ともに， たまたま同じ180件の増を見込んだ。決算の見込 については，受験料収益が多かったことや経費 削減と補助金の活用により，1～2億円の剰余金 を見込んでいる。（迫田事務局長）
昨年の総会では，値上げは1回のみというこ とで承認を得たと記憶しているが，今回も値上 げした額で大丈夫か？（別所理事）	1回限りとは言っていない，会費の値上げを お願いして認められたもので，値上げした会費 をこれからもいただくという認識である。（栗原 理事長）
昨年の総会では，単年度で見て，今は臨時に迫 加している会費を元に戻す努力をしてほしいと の意見があった。（藤井理事）	会費の値上げにより財務が健全化され，その 後の財務の状況を見てどうするか判断すると申 し上げた。（栗原理事長）

4. 第4号議案 第13回臨時総会審議事項等（案）について

栗原議長から本件について付議，迫田事務局長から，資料4－1「第13回臨時総会開催通知（案）」，資料4－2「第13回臨時総会出欠票（案）」，委任状（案），議決権行使書（案）」及び資料4－3「第13回臨時総会議案説明書（案）」に基づき説明があり，審議の結果，全員異議なく，原案どおり承認された。

5. 第5号議案 就業規則の一部改正（案）について

栗原議長から本件について付議，迫田事務局長から，資料5「就業規則の一部改正（案）新旧対照表」に基づき説明があり，審議の結果，全員異議なく，原案どおり承認された。

VI. 報告事項

（1）共用試験の課題と情報共有事項について

1. 医学生C B Tの課題について

齋藤副理事長から，報告資料1－1「医学生C B T課題点報告」に基づき報告があった。

2. 医学生臨床実習前・後O S C Eの課題について

齋藤副理事長から，報告資料1－3「医学生O S C Eの課題点」に基づき報告があった。

3. 歯学生C B Tの課題について

齋藤理事から，報告資料1－2「歯学生共用試験C B Tの課題」に基づき報告があった。

4. 歯学生臨床実習前O S C Eの課題について

葛西事業部長から，報告資料1－4「歯学生O S C Eの課題点」に基づき報告があった。

5. 歯学生臨床実習後P Xの課題について

新田理事から，報告資料1－5「歯学生P X実施管理委員会（2025年2月）」に基づき報告があった。

報告後の主な質問と回答の要旨は以下のとおり。

質 問	回 答
歯科も出題基準の検討が必要ではないか？ ＊印を削除した項目などCBTの問題として評価するには厳しいコアカリ項目がある。（藤井理事）	歯科の出題基準は、知識を評価するためのコアカリ項目のみになっているが，検討する。（齋藤理事） 医科のコアカリは，平成28年度版と令和4年度版を比較してコンピテンシーベースになったことで知識の深さのレベルまで言及されていない。また，評価が困難なことも書かれているため，出題基準の見直しを行っている。ドラフト的なものを7月までには報告する。（高木理事）

試験中に持ち込まれるデバイスに関する対応について、デバイスの進化を鑑みると、あまり先生方に負担を掛けるのはいかがなものか。(藤井理事)	IRTを使うため問題をオープンにできない。また、医療職の国家試験をCBT化する動きがあるため、今後広く検討していく必要がある。(齋藤副理事長)
歯科のOSCEについて、シミュレーターを使用してはどうか？大学に補助金が措置され、大学で用意して実施すればコストダウンにもつながる。継続して検討してほしい。(藤井理事)	シミュレーターの使用については、臨床実習後OSCEの方で検討しているが、今は価格が高い。継続して検討したい。(葛西事業部長)

(2) 財務状況（令和7年1月末まで）について

松尾総務部長から報告資料2「令和5・6年度収支状況比較（令和7年1月末までの実績）」に基づき報告があった。

(3) 理事長及び副理事長の職務執行状況について

江藤副理事長から報告資料3「理事長及び副理事長の職務執行状況報告」に基づき報告があった。

(4) 共用試験成績について

仁田学術顧問から、報告資料4-1「2024年度医学生共用試験CBT結果表」、報告資料4-2「2024年度歯学生共用試験CBT結果表」、報告資料4-3「2024年度医学生臨床実習前OSCE結果表」、報告資料4-4「2024年度歯学生臨床実習前OSCE結果表」、報告資料4-5「2024年度医学生臨床実習後OSCE結果表」及び報告資料4-6「2024年度歯学生Post-CCPX結果表」に基づき報告があった。

(5) その他

委員会組織及び名称の改編について、報告資料5-1「令和7年度委員会組織図」及び報告資料5-2「機構委員会規程別表」に基づき、医学系については齋藤副理事長から、歯学系については江藤副理事長から報告があった。

報告後、長島共用試験制度・システム開発委員会委員長から、医学・歯学別々に開発していたデータベースを統合することにより効率化し経費削減を図るため、委員会についても統合し共用試験制度・システム開発委員会に取り込んだとの補足説明があった。

以上をもって議事は全て終了し、議長は12時00分閉会を宣し、解散した。

令和7年2月28日

議 長 栗 原 敏 ⑩

議事録署名人 竹 田 幸 博 ⑩